

国立国語研究所学術情報リポジトリ

人称詞の使用意識について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2020-06-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 尾崎, 喜光 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002918

【発表2】

人称詞の使用意識について

言語行動研究部第一研究室

尾崎 喜光

0. 本発表の報告の範囲

本発表では、アンケート調査のうち、「自称詞」（話し手自身の呼び方）と「対称詞」（話し相手の呼び方）の項目について、学校生活の中でどのような言い方がどの程度使われているか、またそうした言い方がどのように受け止められているかについて、調査結果の一部を報告する。

1. 回答方法

短い説明のあとに選択肢を掲げ、その選択肢にマークを付けてもらう方法で回答してもらった。

実際の調査票では、選択肢は、(1)から(6)（ないしは(4)）までの設問の直後に繰り返し掲げてある。全ての選択肢について、使う(○)・使わない(×)のチェックをもらった。

(1)から(6)（ないしは(4)）までの設問の並び順は、対象地域により異なる部分がある。なお、男子校・女子校については、自称詞の(2)および対称詞の(2)（すなわち対異性同級生の場面）の回答は求めなかった。

【自称詞】

学校生活の中で、ふだん自分のことを何と言っていますか。それぞれの相手に對して、使うものには○、使わないものには×を全部つけてください。
ほかの言い方をする場合には、その言い方を（ ）のなかに記入してください。

- (1) 同じクラスで、一番したしい同性のともだちに対しては……
- (2) 同じクラスで、話をする機会のいちばん多い異性の同級生に対しては……
- (3) 部（クラブ）活動で、話をする機会のいちばん多い同性の先輩（せんぱい）に対しては……
- (4) 担任の先生に対しては……
- (5) 校長先生に対しては……
- (6) よそから来た知らないおとなの（男）が、廊下で話しかけてきたときは……

注：大阪高校と山形中学の調査では、(6)は「よそから来た知らないおとなの（男）が、廊下で、標準語（ひょうじゅんご）で話しかけてきたときは……」としてある。

【東京中学・東京高校用】

- | | | | | |
|-------------------|------------|--------|---------|---------|
| 1. ボク | 2. ワタシ | 3. アタシ | 4. ワタクシ | 5. アタクシ |
| 6. オレ | 7. ウチ | 8. ワシ | 9. ワイ | 10. ジブン |
| 11. 自分の名前（例. ハルコ） | 12. その他（ ） | | | |

【大阪高校用】

- | | | | | |
|-------------------|------------|--------|---------|---------|
| 1. ボク | 2. ワタシ | 3. アタシ | 4. ワタクシ | 5. アタクシ |
| 6. オレ | 7. ウチ | 8. ワシ | 9. ワイ | 10. ワテ |
| 12. 自分の名前（例. ハルコ） | 13. その他（ ） | | | |

【山形中学用】

- | | | | | |
|-------------------|------------|--------|---------|---------|
| 1. ボク | 2. ワタシ | 3. アタシ | 4. ワタクシ | 5. アタクシ |
| 6. オイ | 7. オレ | 8. オラ | 9. ワシ | 10. ジブン |
| 11. 自分の名前（例. ハルコ） | 12. その他（ ） | | | |

【文寸称言詞】

それでは、相手のことは何と呼んでいますか。前問と同じように、使うものには○、使わないものには×を全部つけ、その他の言い方をする場合には()に具体的に書いてください。

- (1) 同じクラスで、一番したしい同性のともだちに対しては……
- (2) 同じクラスで、話をする機会の一番多い異性の同級生に対しては……
- (3) 部(クラブ)活動で、話をする機会の一番多い同性の先輩に対しては……
- (4) 部(クラブ)活動で、話をする機会の一番多い同性の後輩に対しては……

【東京中学・東京高校用】

- | | | | | |
|----------------|----------|------------|------------|------------|
| 1. キミ | 2. アナタ | 3. アンタ | 4. オマエ | 5. オメエ |
| 6. オタク | 7. ジブン | 8. 姓+クン | 9. 姓+サン | 10. 姓を呼びすて |
| 11. 名+クン | 12. 名+サン | 13. 名+チャン | 14. 名を呼びすて | |
| 15. ニックネーム・あだ名 | | 16. その他() | | |
- 注: (3)では「センパイ(姓+センパイ, 名+センパイなども)」を追加。

【大阪高校用】

- | | | | | | |
|-----------------------|--------|------------|-----------------------|--------|---------|
| 1. キミ | 2. アナタ | 3. アンタ | 4. オマエ | 5. オメエ | 6. オマハン |
| 7. オタク | 8. ワレ | 9. ジブン | 10. 相手の姓(例. スズキ, タナカ) | | |
| 11. 相手の名(例. マサオ, ハルコ) | | 12. その他() | | | |

【山形中学用】

- | | | | | | |
|-----------------------|--------|------------|-----------------------|-------|------|
| 1. キミ | 2. アナタ | 3. アンタ | 4. オマエ | 5. オメ | 6. ワ |
| 7. ワネ | 8. ワレ | 9. ジブン | 10. 相手の姓(例. スズキ, タナカ) | | |
| 11. 相手の名(例. マサオ, ハルコ) | | 12. その他() | | | |

【文寸称言詞】 (呼(ばれ)) *東京中学・東京高校でのみ調査。

⋮

(3) それでは担任の先生からは何と呼ばれていますか。呼ばれているものには○、呼ばれていないものには×を、全部つけてください。

- | | | | | |
|----------------|----------|------------|------------|------------|
| 1. キミ | 2. アナタ | 3. アンタ | 4. オマエ | 5. オメエ |
| 6. オタク | 7. ジブン | 8. 姓+クン | 9. 姓+サン | 10. 姓を呼びすて |
| 11. 名+クン | 12. 名+サン | 13. 名+チャン | 14. 名を呼びすて | |
| 15. ニックネーム・あだ名 | | 16. その他() | | |

(4) あなたとしては、担任の先生からは何と呼ばれるのが好きですか。好きな呼ばれ方には○、きらいな呼ばれ方には×、どちらでもない呼ばれ方には△を、全部つけてください。実際に呼ばれていない言い方についても、もし呼ばれるとしたらということで考えてください。

- | | | | | |
|----------------|----------|------------|------------|------------|
| 1. キミ | 2. アナタ | 3. アンタ | 4. オマエ | 5. オメエ |
| 6. オタク | 7. ジブン | 8. 姓+クン | 9. 姓+サン | 10. 姓を呼びすて |
| 11. 名+クン | 12. 名+サン | 13. 名+チャン | 14. 名を呼びすて | |
| 15. ニックネーム・あだ名 | | 16. その他() | | |

2. 結果と考察

2.1. 生徒が使う人称詞(自称詞・対称詞)

2.1.1. 東京の中高生の実態(自称詞・対称詞)

(1) 自称詞

対同性友人と対担任の全般的傾向については、図1・図2・図3・図4。

いずれの場面においても、男子はボク・オレ、女子はワタシ・アタシの使用率が断然高い。若者の言葉の中性化がしばしば指摘されているが、こと自称詞に関しては、男女差はまだ歴然としている。

対同性友人から対担任になると、男子はオレが減少してボクが増加し、女子はアタシが減少してワタシが増加する。こうした場面差について語形ごとに注目してまとめたのが図5・図6・図7・図8・図9・図10。

図5のボクは、上位場面（気が張る相手）ほど使用率が高くなり、社会人の常識と逆。ワタシ・ワタクシがまだ使用語彙でない中高生男子にとって、ボクはむしろ良い言葉。

逆に図6のオレは、上位場面ほど使用率が低くなる。なお、同じく対教師であっても、担任と校長の落差は大きい。日々親しく接する教師か否かの差であろう。

女子の図7のワタシ・図8のアタシは、男子のボク・オレとパラレルな関係。ただし、ワタシ・アタシの使い分けの“幅”は、ボク・オレのそれよりも小さい。つまり、ワタシ・アタシは、ボク・オレよりも、使い分けという点ではよりニュートラル。

図9は男子のワタシの使用率。上位場面でも使用率は低い（中学→高校の増加はあり）。

図10は女子の「名前」の使用率。下位場面ではまだ使われている。

(2) 対称詞

対同性友人、対異性同級、対同性先輩での全般的傾向については、図11・図12・図13・図14・図15・図16。

対同性友人での傾向は次のとおり。男子の場合は、代名詞ではオマエ・オメエ、非代名詞では「姓呼捨て」「名呼捨て」「ニックネーム・あだ名」の使用率が高い。一方女子の場合は、代名詞ではアンタ、非代名詞では「名+チャン」「姓+サン」「姓呼捨て」「名呼捨て」「ニックネーム・あだ名」の使用率が高い。代名詞は、男子のオマエ系、女子のアンタの対立。ただし、女子の代名詞の使用率は低く、全般的に非代名詞を使用。

対異性同級での傾向は次のとおり。代名詞の使用傾向は対同性友人とほぼ同じだが、非代名詞で異なる。男子の場合「姓+サン」「姓呼捨て」「ニックネーム・あだ名」、女子の場合「姓+クン」「姓呼捨て」「ニックネーム・あだ名」の使用率が高い。男子→女子の方向では「姓+サン」、女子→男子の方向では「姓+クン」、の違いあり。なお、女子中学生の「姓呼捨て」の使用率の高さが注目される。

対同性先輩での傾向は次のとおり。何と言ってもセンパイの使用率が高い。とりわけ女子の場合は全員に近い。男子の場合、中学生で「姓+クン」、高校生で「姓+サン」も。

2.1.2. 東京と山形の地域差（自称詞）

対同性友人の場面での全般的傾向については、図17・図18。

男子の場合、東京に比べ山形でのボクの使用率は低い。オレはともによく使用されている。山形では方言形式のオイも使用率が高い。

女子の場合、東京に比べ山形でのワタシの使用率は低い。アタシはともによく使用されている。山形では方言形式のオイも使用率が高い。男子ほど一般的ではないが、オレも20%ほど使用されている。東京ではオレはほぼ男子専用でありカテゴリカルな違いと言えるが、山形では傾向性の違いである。なお、山形でのオイは男女の別なくよく使用されている。性別に関わり無く使える代名詞が存在する点は、東京と異なっている。

場面差について語形ごとに注目したのが図19・図20・図21・図22。

図19の方言形式オイは、男女ともに上位場面になるほど使用率が下がる。対校長・対来客(男)での使用率は非常に低く、特に女子では皆無に近い（=東京の者が突然訪問しても聞くことはあまり期待できない）。なお、同性先輩の位置付けが男女で異なり、男子では生徒寄り、女子では先生寄り。

図20の男子のオレは、東京・山形ともに上位場面で使用率が低くなる。逆に図21の男子のボクは、東京・山形ともに上位場面で使用率が高くなる。また、図22の女子のワタ

シも、東京・山形ともに上位場面で使用率が高くなる。いずれも大きな傾向は、東京と山形は同じである。しかし、"使い分け方"に次のような違いが認められる。

山形のオレは、対先輩の場面でも、対同性同級と同程度よく使用される（対担任の場面でもその傾向あり）。また山形のボクは、対同性友人・対異性同級・対同性先輩で使用率がかなり低く、場面による減り張りがはっきりしている（=東京では丁寧度が相対的にニュートラル；山形では非ニュートラル）。なお、先輩の位置付けも東京と山形で異なり、東京では生徒と先生の中間か多少先生寄りであるのに対し、山形では生徒寄り。山形のワタシも、先のボクと同様の傾向（ただし先輩の位置付けは東京と同じか）。

このように、語形自体は方言的ではないが、使い分け方・運用面に方言性・地域性が見られる場合があることがわかった（言語行動における方言性・"かくれた"方言）。これは、①方言社会で共通語形も調査したこと、②比較対照する他の地域（東京）でも同じ項目を同じように調査したこと、により見えてきた方言性である。

2.2. 生徒が使われる人称詞（対称詞）

従来の言語行動研究では、ある社会的状況下で「何を言うか」「どう言うか」という観点から主として研究が進められてきた。しかし、一般に、言葉を発するという行為は、当然それを受け取る人がいる事を前提とした行為である。そうであれば、「発する側」ではなく「受ける側」からの研究、すなわち「何を言われるか」「どう言われるか」という観点からの研究も、また成り立つと言えよう（「受動的言語行動」）。この観点から研究には、研究対象者を調査対象者とするのに困難が伴う場合でも、その受け手を通してある程度の情報を得ることができるという利点もある（例えば、中学生の子供に対する母親の「呼びかけ」を、当の母親からではなく受け手の中学生から情報を得る）。

このような「受動的言語行動」の研究は、他者から受けた言語行動をどう受け止めているか、当事者の関係はどう展開していくかという、日常生活ではしばしば問題とされることがらの研究へとつながって行くものである。

今回の調査ではこうした問題意識から、東京中学と東京高校については、「相手をどう呼んでいるか」の他に、「相手からどう呼ばれているか」「それをどう受け止めているか（=好悪という基準からの評価）」ということについても調査した。「相手」は、〈生徒〉と〈担任〉の場合を答えてもらったが、ここでは〈担任〉の場合について報告する。

図23は、東京中学で生徒たちが担任からどう呼ばれているかである。男女とも「姓呼捨て」で呼ばれることが多い。その他、男子は「姓+クン」、女子は「姓+サン」も多い。代名詞で呼ばれることは少ない。

図24は、担任から呼ばれた時の好悪について、「好き」と答えた生徒の比率である。男女とも「姓呼捨て」を好む生徒が多い。その他、男子は「姓+クン」、女子は「姓+サン」を好む生徒も多い。女子については、実際の呼ばれでは「姓+サン」よりも「姓呼捨て」が多いが、好悪という点ではむしろ「姓+サン」の方が支持されている。なお、代名詞の支持は少ない。おおむね、全体として生徒たちに支持される対称詞がよく使われている。

図25・図26・図27・図28は、各対称詞について、「呼ばれているか否か」と「好悪」をクロス集計してまとめたものである。

図25は、各対称詞で実際に呼ばれている生徒による評価である。語形の右側の丸括弧内の数字は「呼ばれる」と答えた人数。非代名詞（特に「姓+サン」）の支持が高く、代名詞は支持されない。代名詞の中ではアナタの支持が高いが、それ以上不支持がある。

図26は、各対称詞で実際には呼ばれていない生徒による評価である。全般的に不支持が多く、呼ばれない対称詞=嫌いな対称詞という傾向。ただし「姓+サン」はやや例外。

図27は、担任からの呼ばれを「好き」と答えた生徒が、実際そう呼ばれているか否かをまとめたものである。「姓呼捨て」「姓+サン」はいわば“良い関係”にある。一方「ニックネーム・あだ名」「姓+チャン」は、生徒によっては担任はもう少し使ってもよさそう。

図28は、担任からの呼ばれを「嫌い」と答えた生徒が、実際呼ばれているか否かをまとめたものである。「姓呼捨て」は、生徒によってはもう少し控えた方がよさそう。

図1. 自称詞 <対同性友人> [東京・男子]

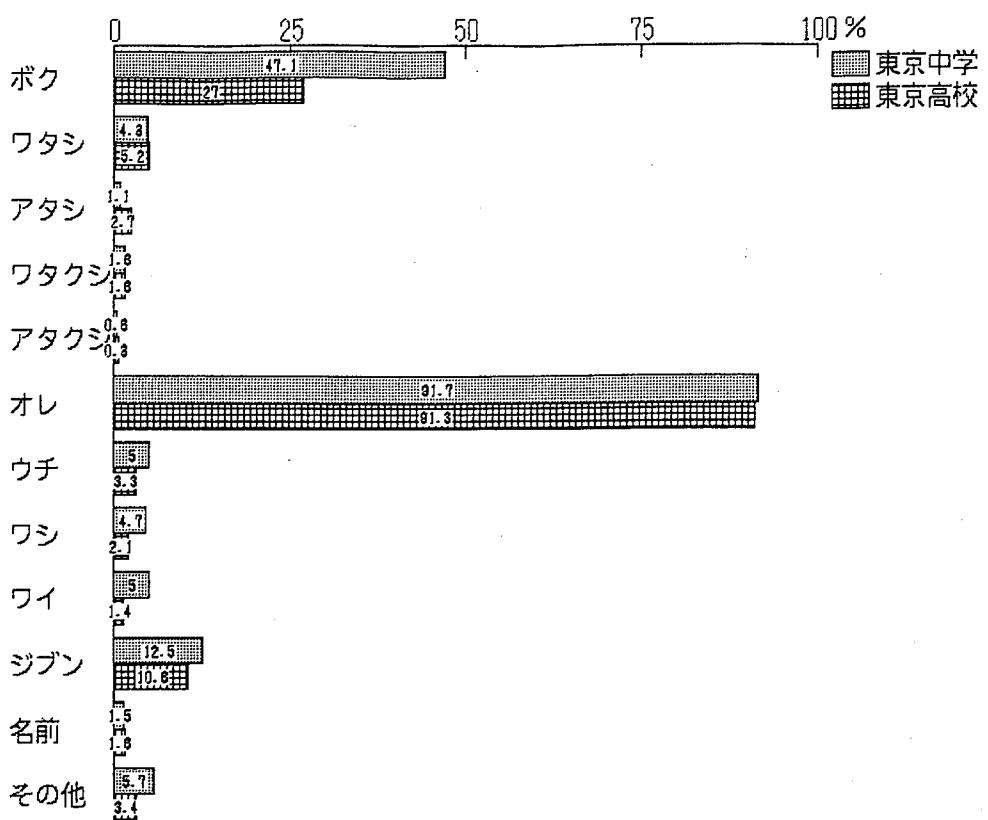


図2. 自称詞 <対同性友人> [東京・女子]

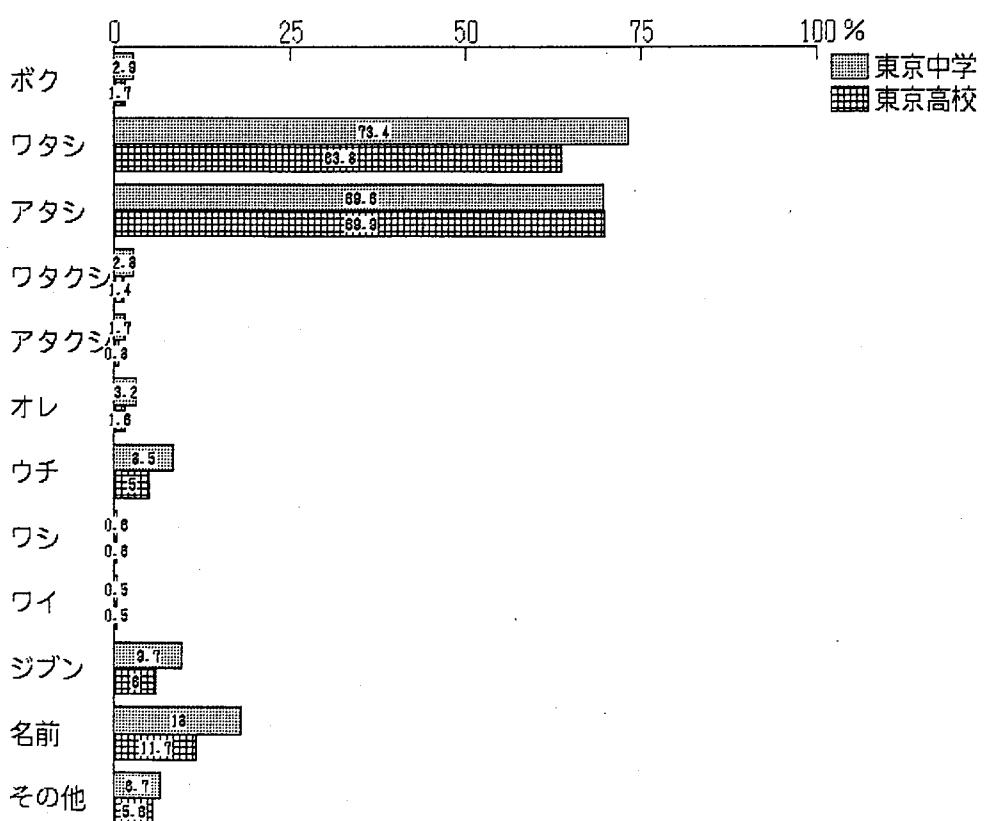


図3. 自称詞 <対担任> [東京・男子]

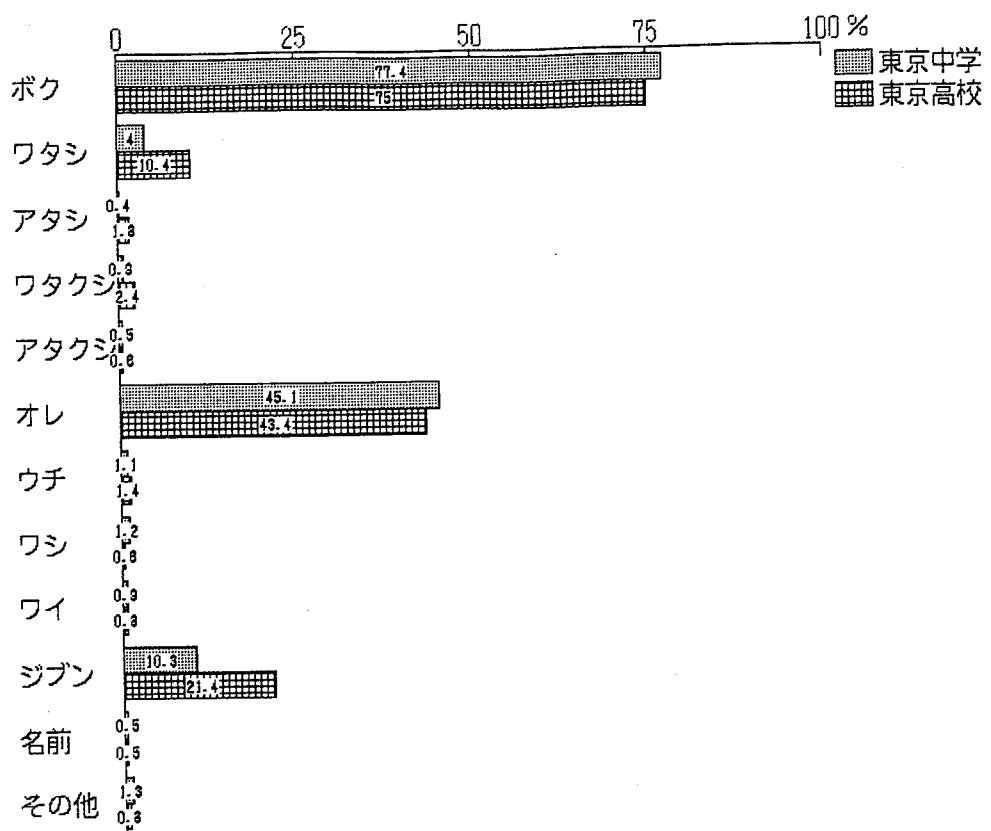


図4. 自称詞 <対担任> [東京・女子]

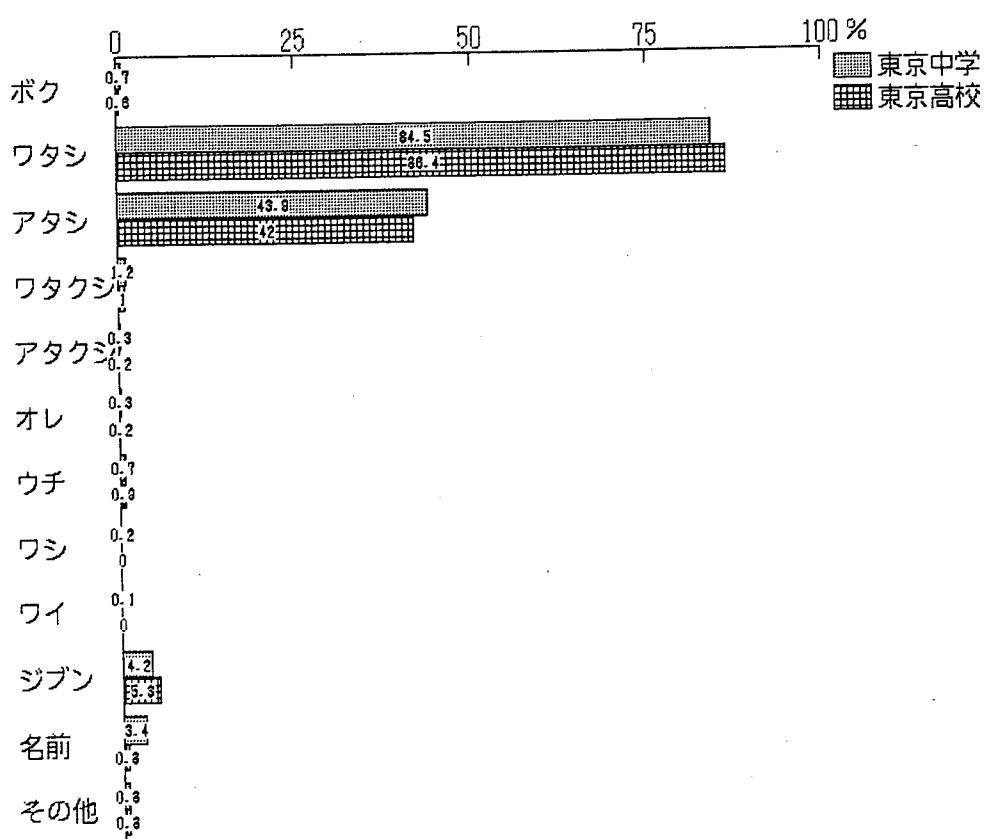


図 5. 「ボク」の相手別使用率 [東京・男子]

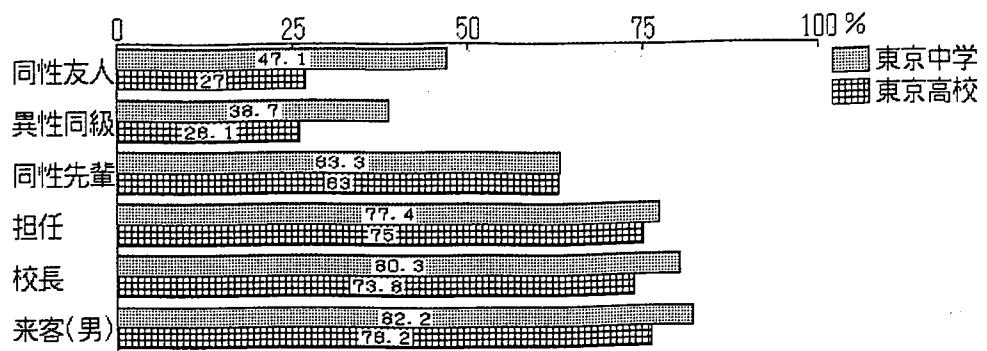


図 6. 「オレ」の相手別使用率 [東京・男子]

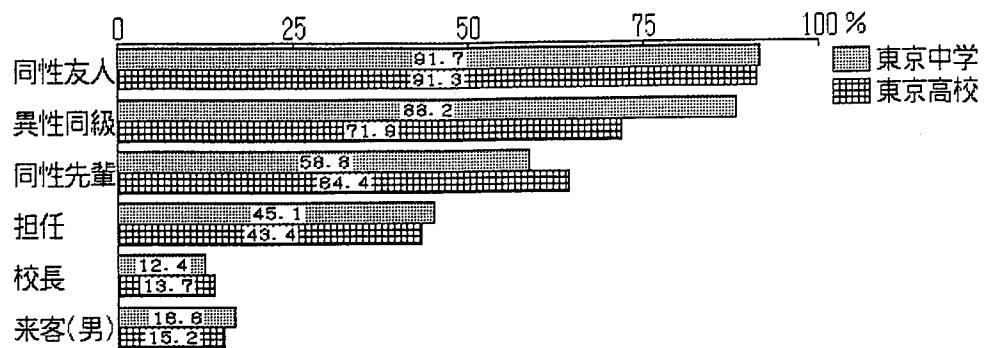


図 7. 「ワタシ」の相手別使用率 [東京・女子]

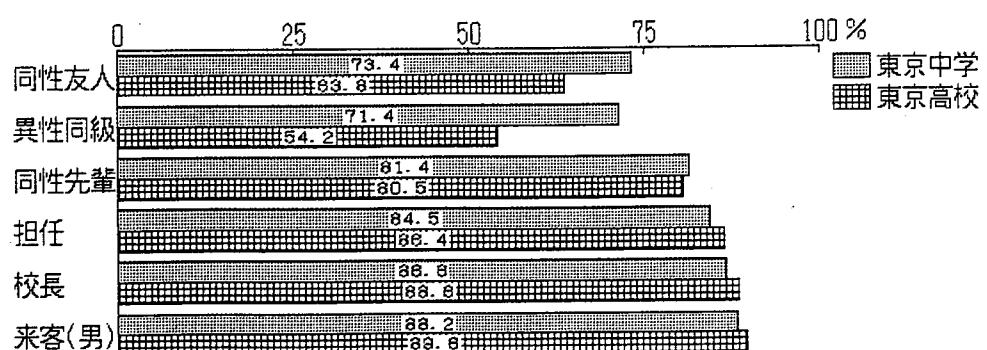


図 8. 「アタシ」の相手別使用率 [東京・女子]

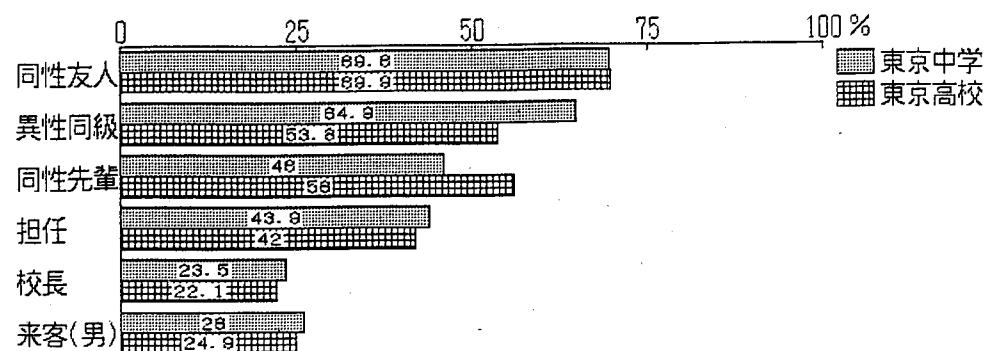


図9. 「ワタシ」の相手別使用率 [東京・男子]

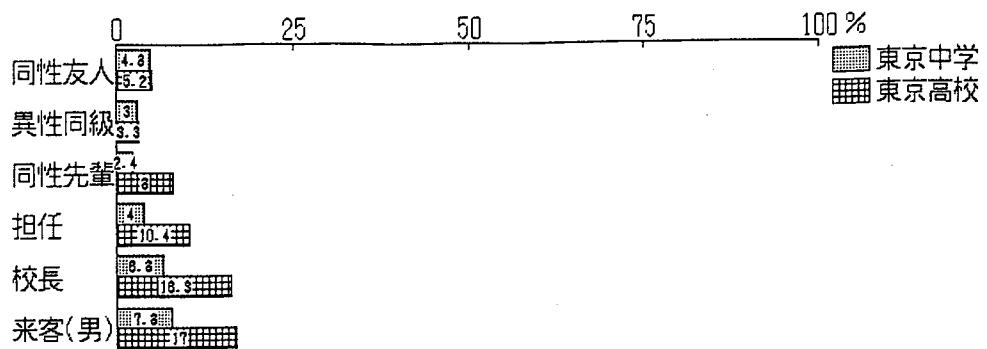
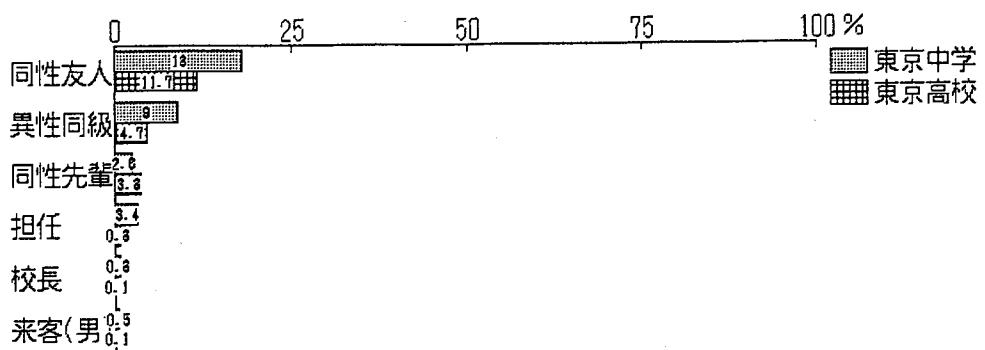
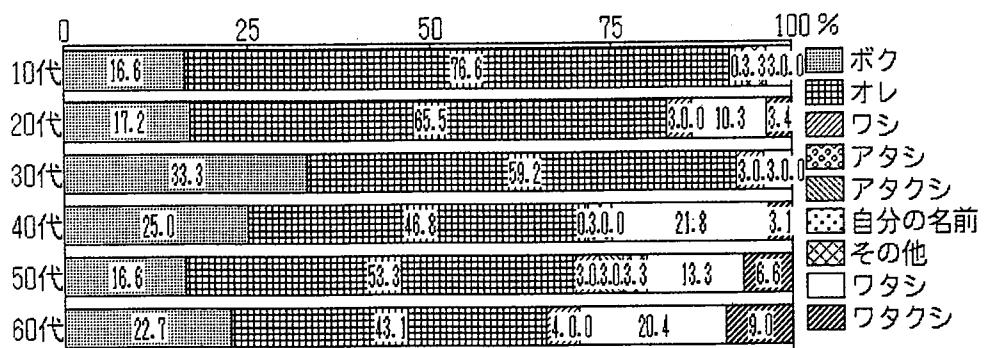


図10. 「名前」の相手別使用率 [東京・女子]



参考図A. 札幌市の自称詞 <対友人> [男性]
- 1985年~86年実施の尾崎調査から -



参考図B. 札幌市の自称詞 <対知らない人> [男性]
- 1985年~86年実施の尾崎調査から -

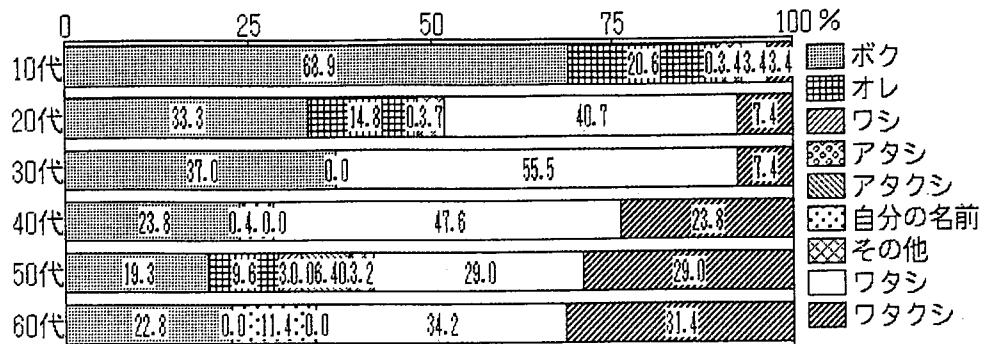


図 1 1. 対称詞 <対同性友人> [東京・男子]

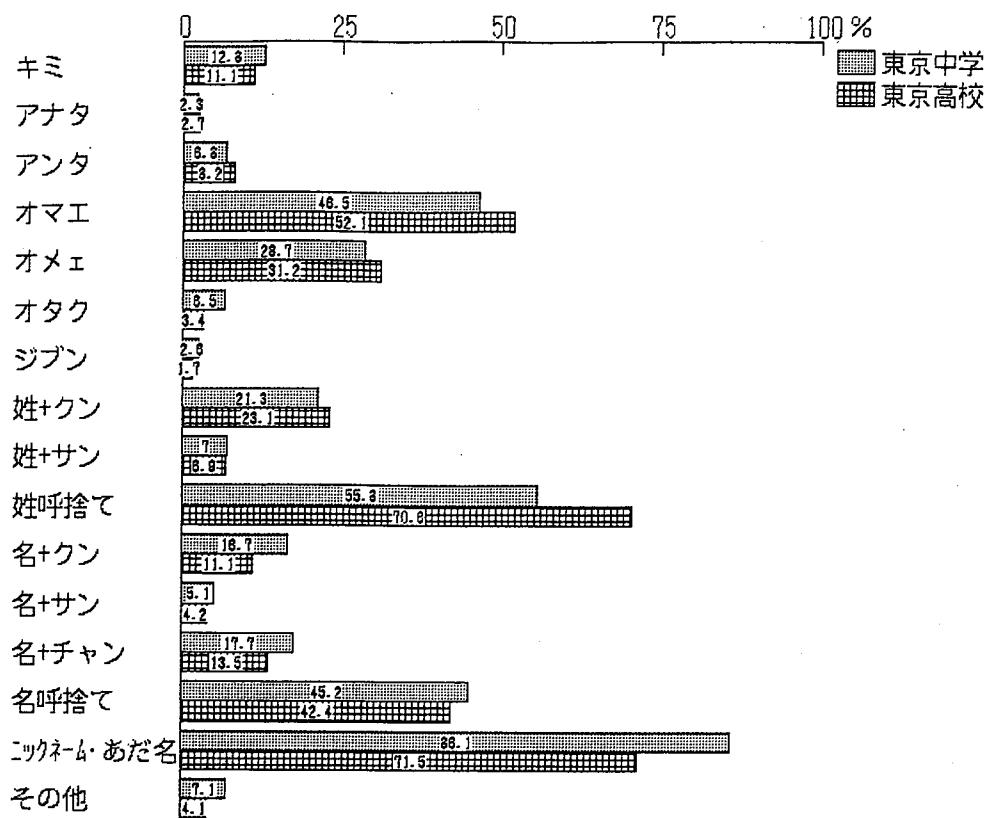


図 1 2. 対称詞 <対同性友人> [東京・女子]

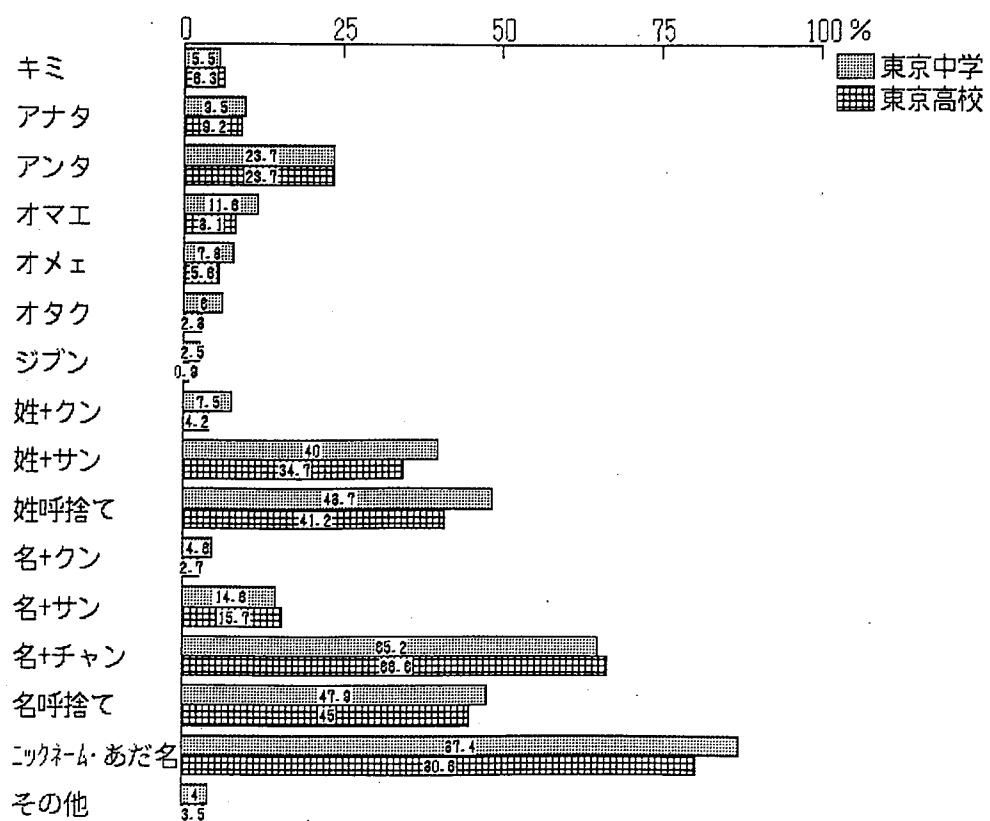


図 1 3. 対称詞 <対異性同級> [東京・男子]

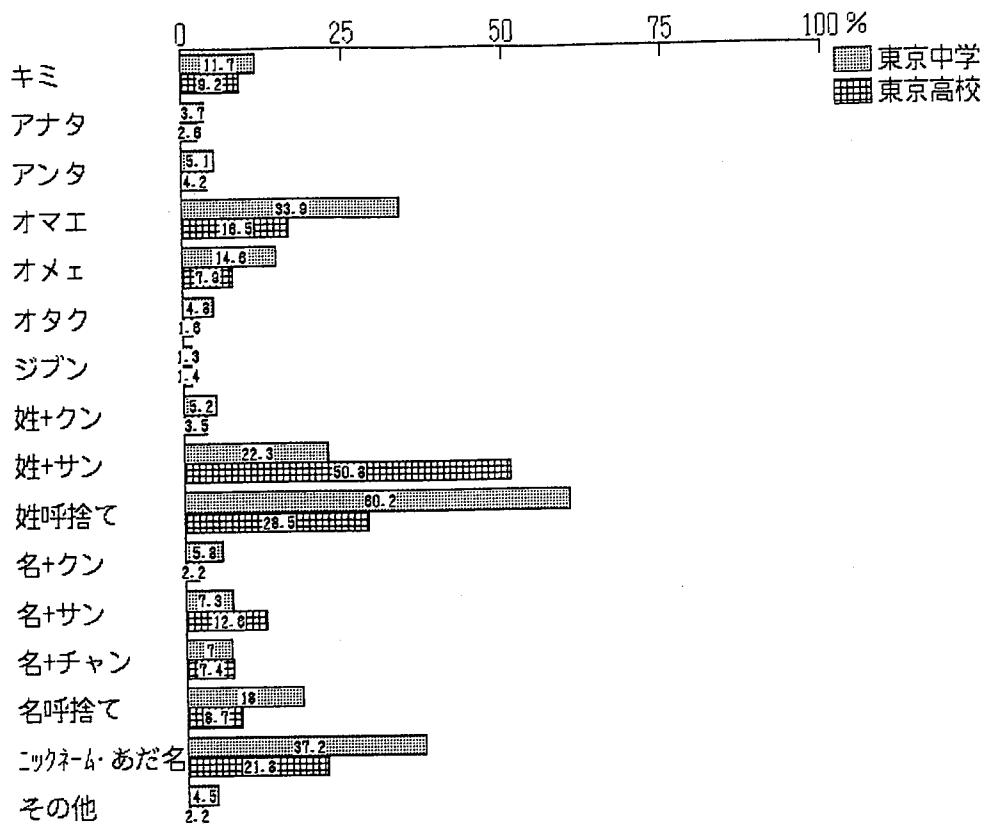


図 1 4. 対称詞 <対異性同級> [東京・女子]

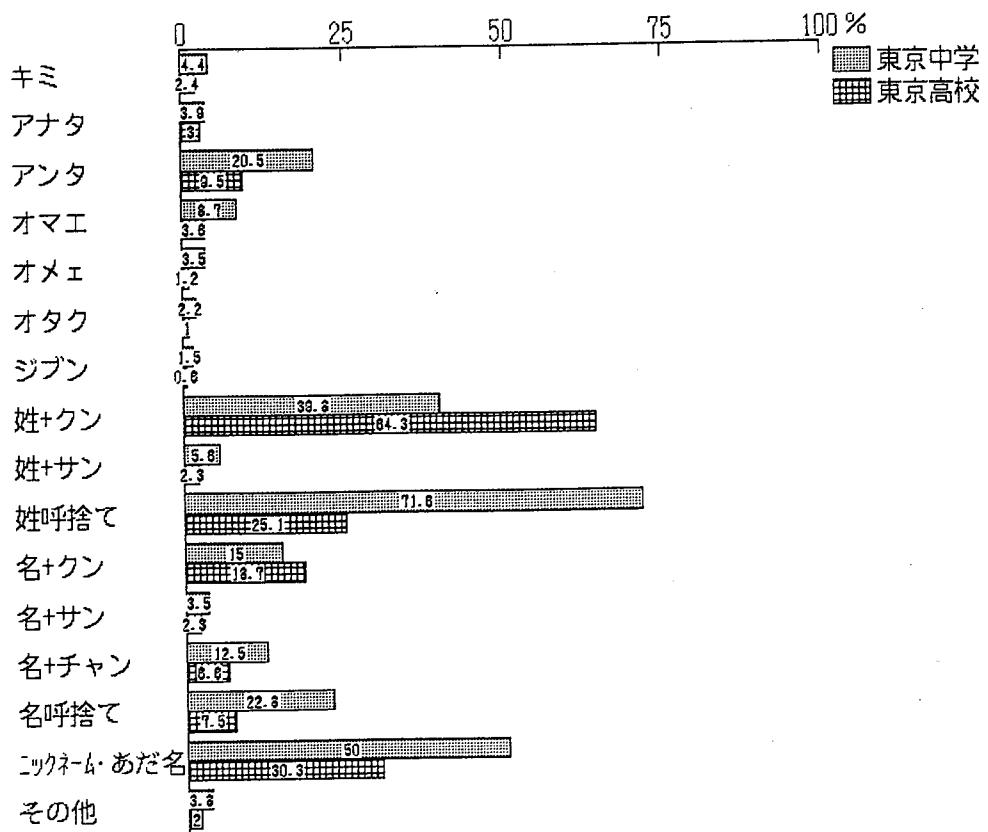


図15. 対称詞 <対同性先輩> [東京・男子]

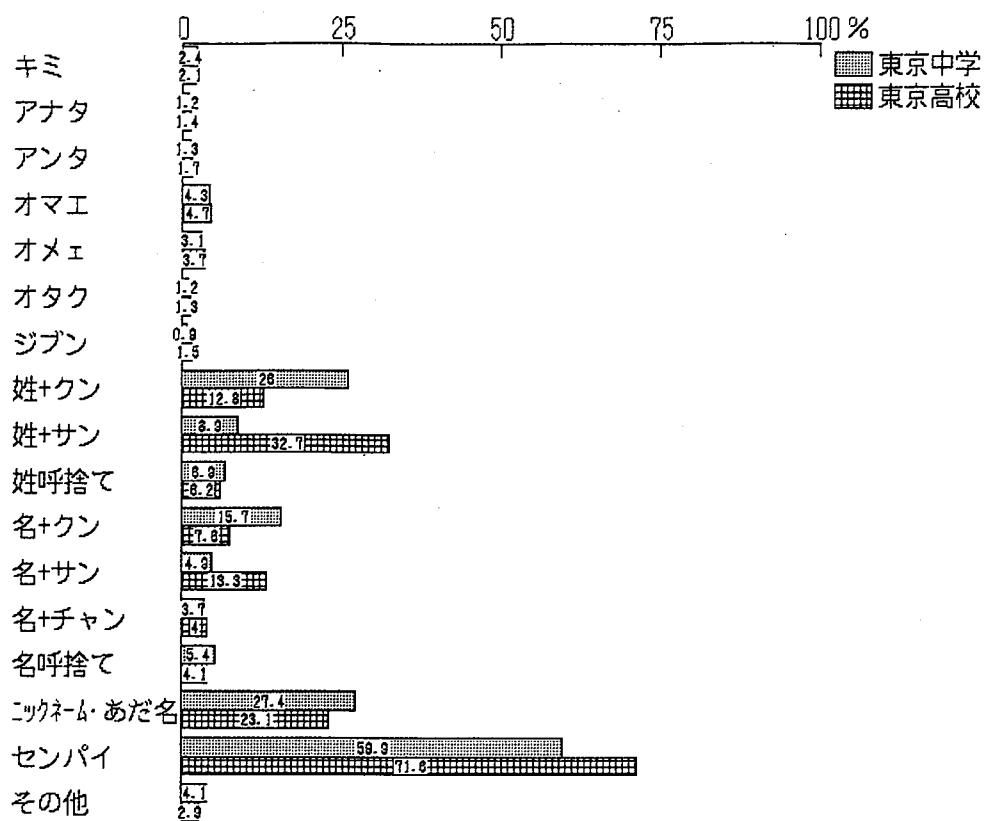


図16. 対称詞 <対同性先輩> [東京・女子]

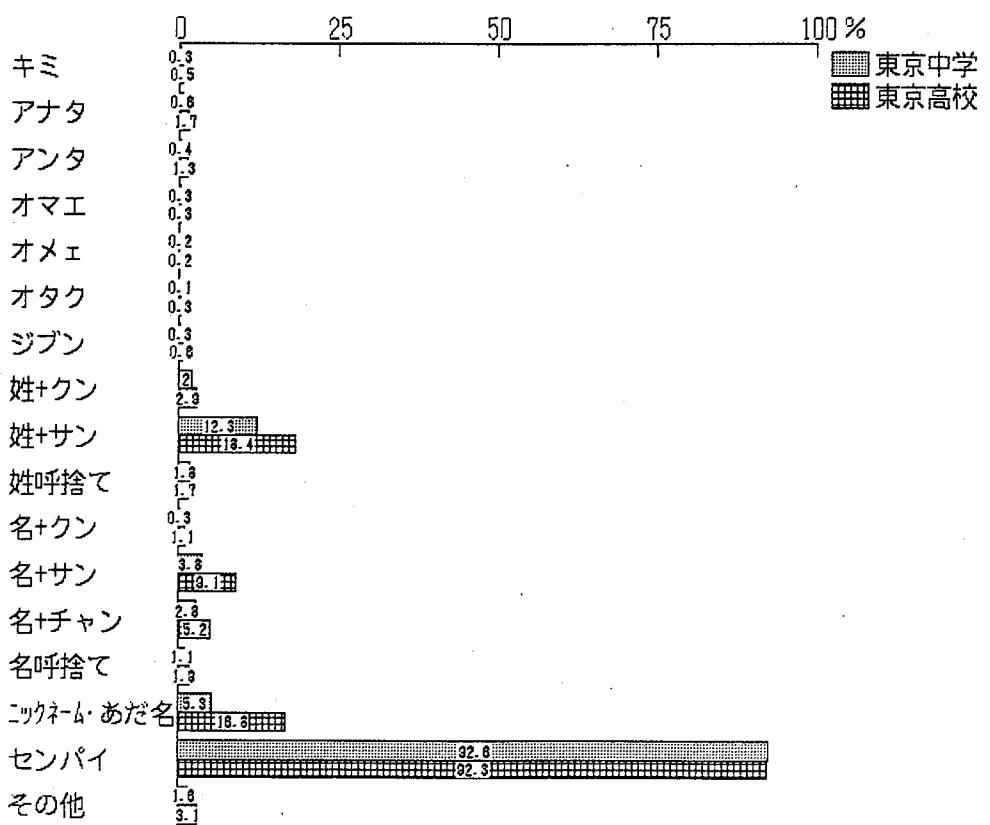


図17. 自称詞 <対同性友人>の地域差 [男子]

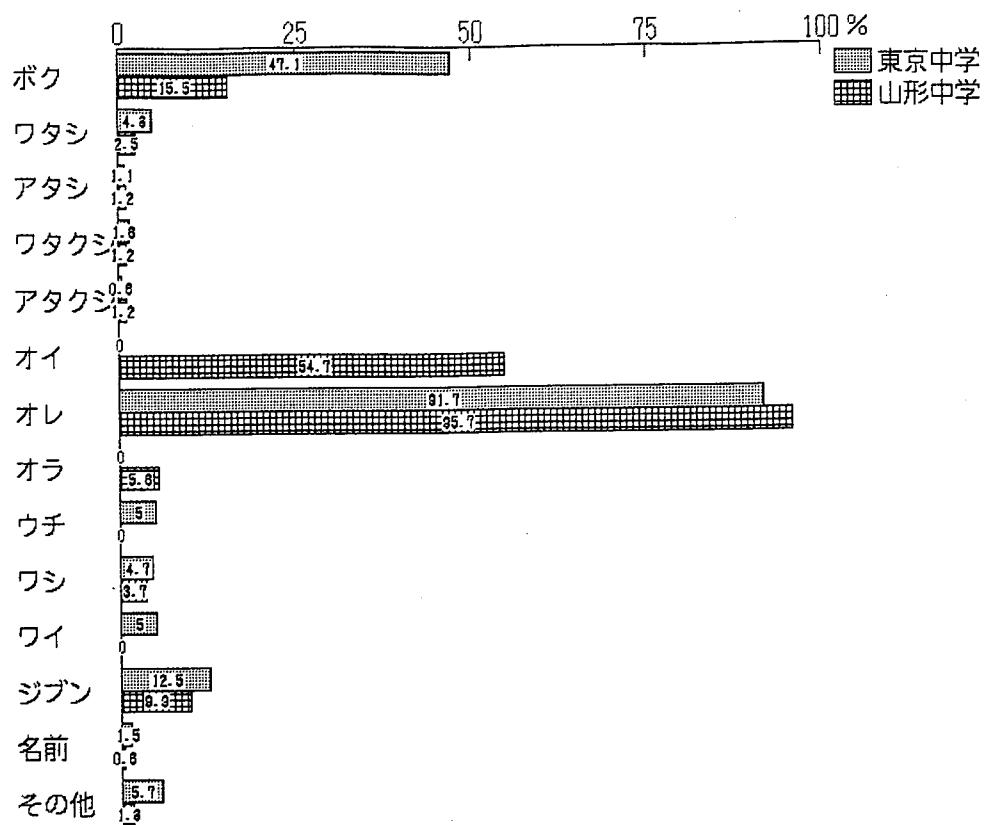


図18. 自称詞 <対同性友人>の地域差 [女子]



図 19. 「オイ」の相手別使用率 [山形]

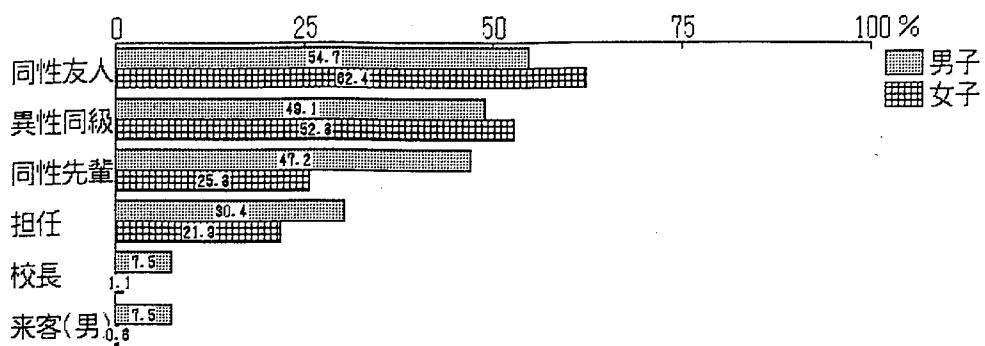


図 20. 「オレ」の相手別使用率の地域差 [男子]

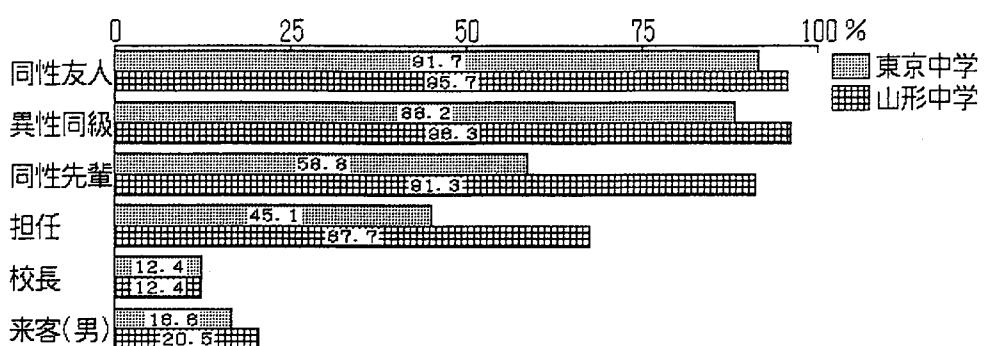


図 21. 「ボク」の相手別使用率の地域差 [男子]

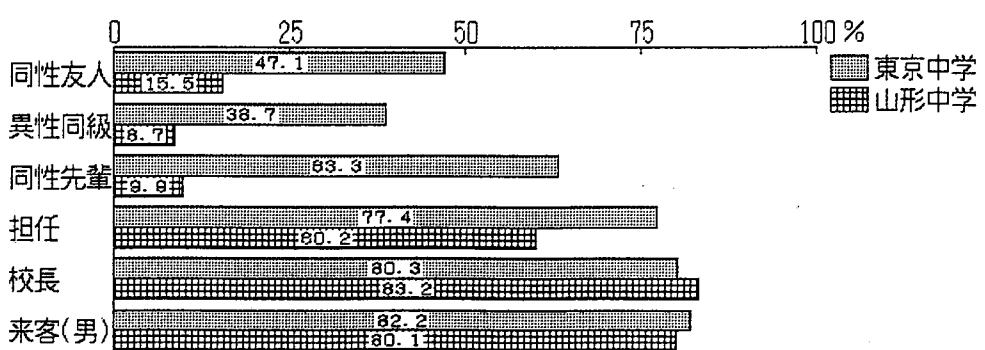


図 22. 「ワタシ」の相手別使用率の地域差 [女子]

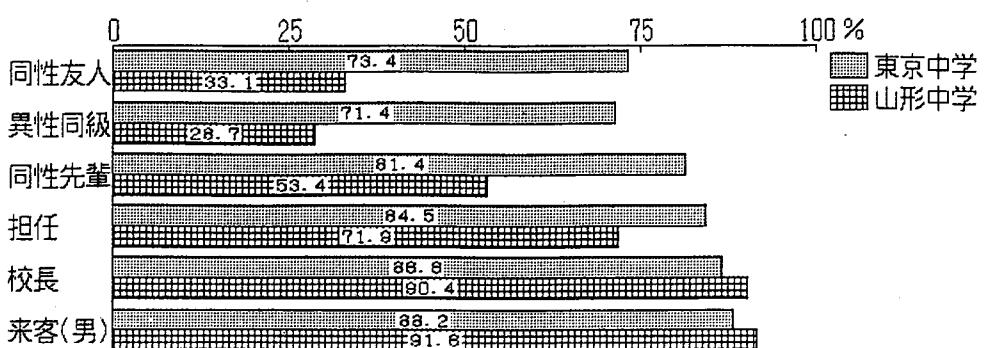


図23. 対称詞 <担任からの呼ばれ>の性差 [東京中学]

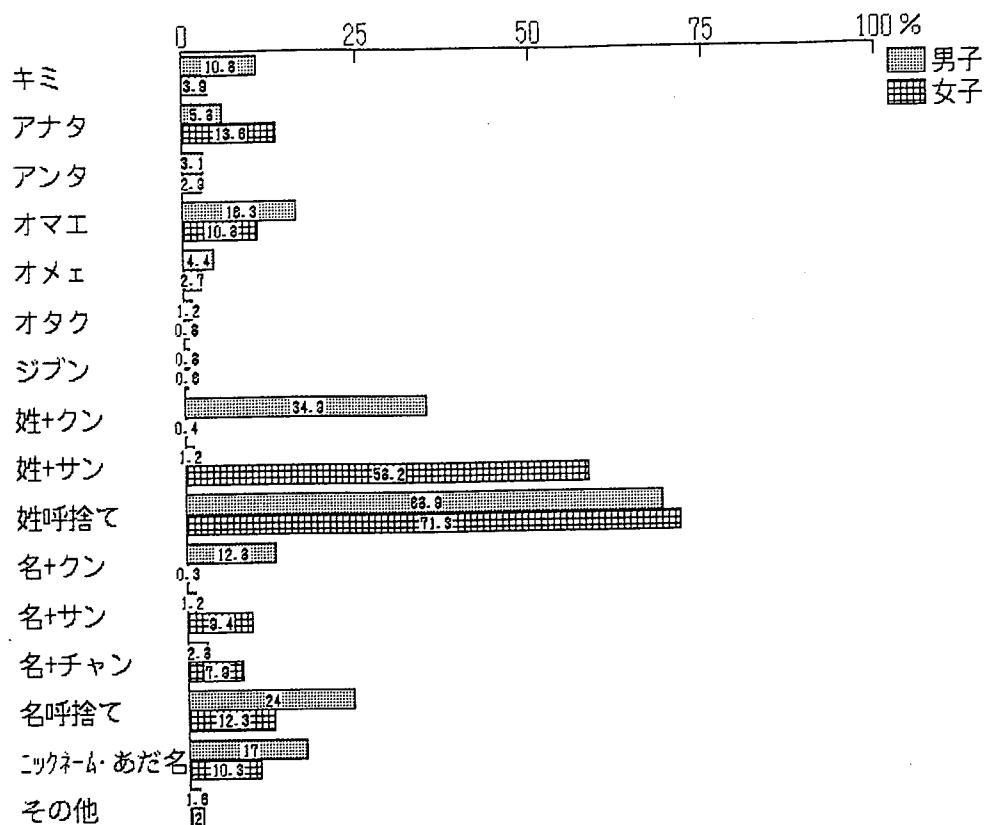


図24. 対称詞 <担任からの呼ばれ>の好悪の性差 [東京中学]

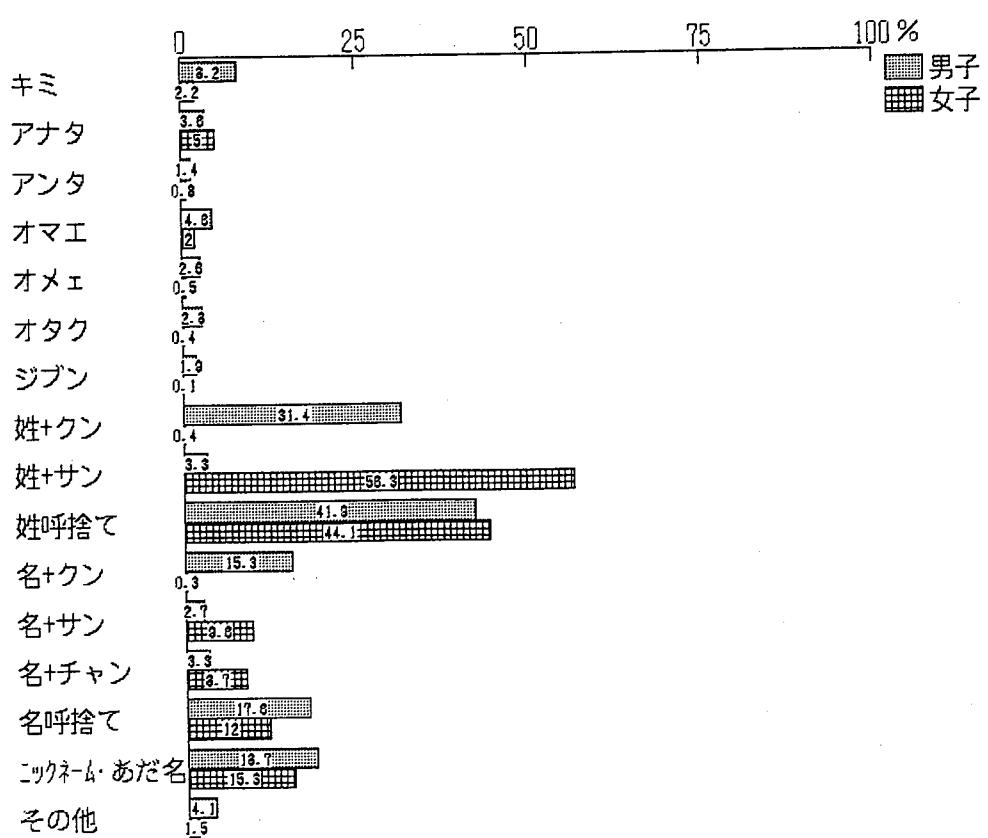


図25. 対称詞 担任から実際呼ばれてどう感じるか

[東京中学・女子]

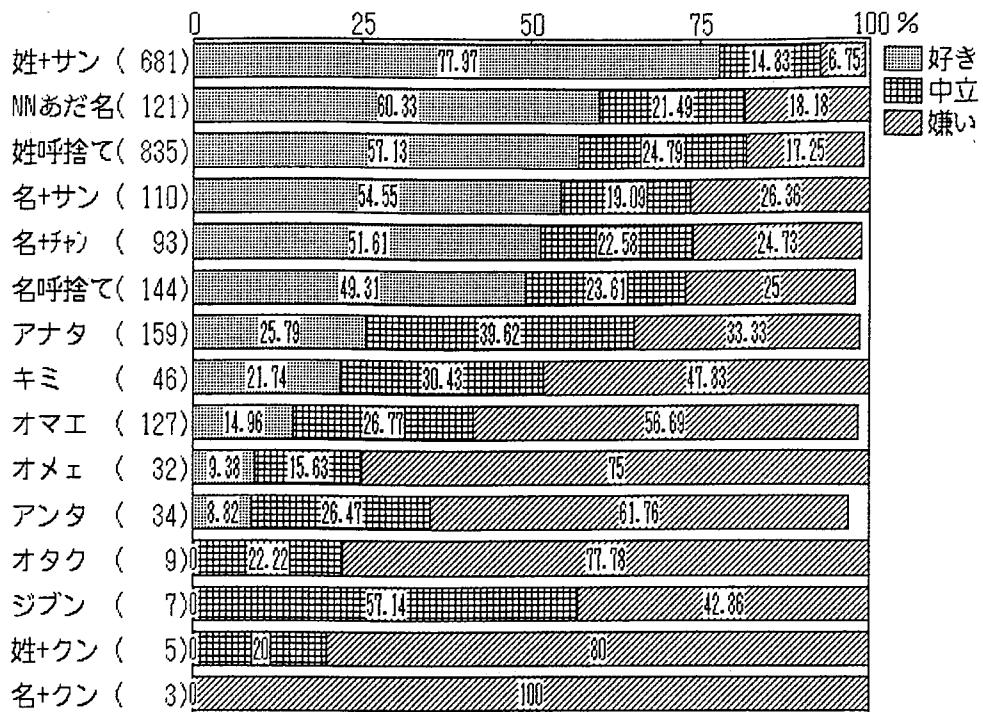


図26. 対称詞 担任からもし呼ばれるとしたらどう感じるか

[東京中学・女子]

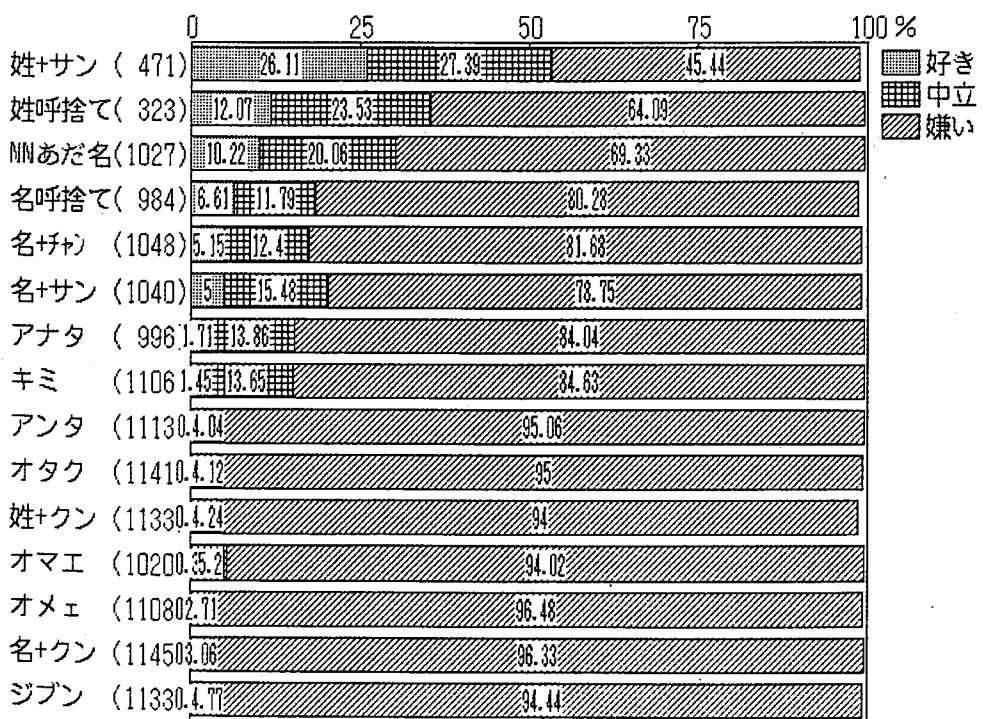


図27. 対称詞 担任からの呼ばれを「好き」とした生徒の実際
[東京中学・女子]

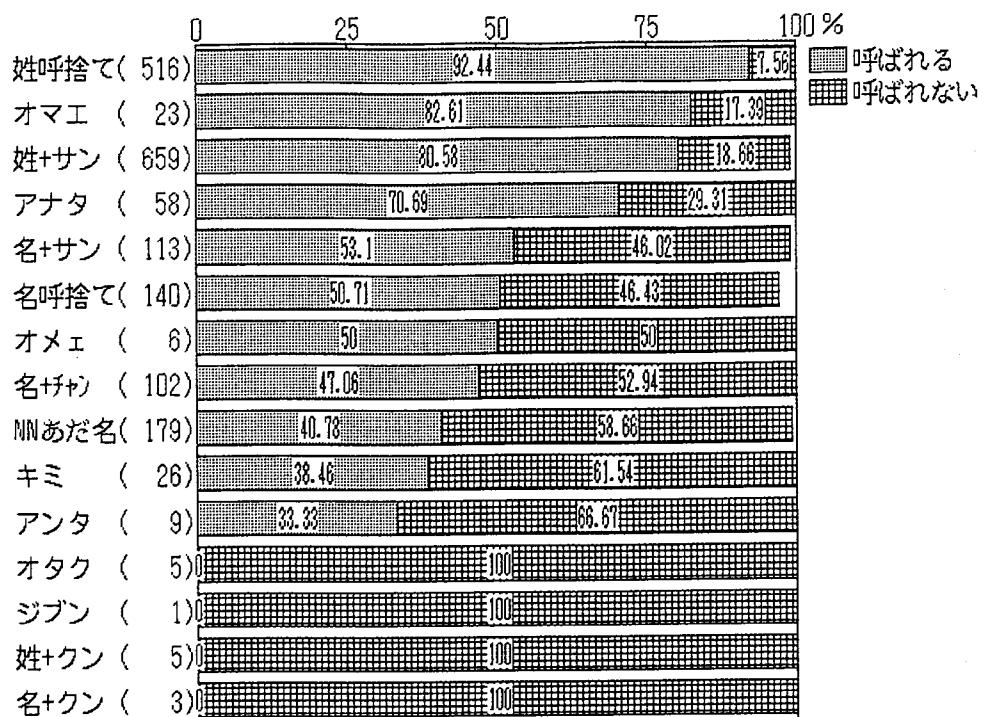


図28. 対称詞 担任からの呼ばれを「嫌い」とした生徒の実際
[東京中学・女子]

